

2. 会員活動紹介

会員による特徴的な活動を紹介します。

いちょうテラス淀屋橋

by 御堂筋まちづくりネットワーク

御堂筋ににぎわい憩い空間を創出するため、大阪市と連携し、淀屋橋三井ビルディング（淀屋橋オドナ）前に御堂筋パークレット（いちょうテラス淀屋橋）を設置しました。



いちょうテラス淀屋橋

和綿プロジェクト

by 豊田産業株式会社

かつて繊維の街と言われていた船場。大阪の発展と切っても切り離せない繊維に関係するもので街を元気にしたい！船場の街に住む人や働く人、船場の街が好きな人が和綿を育てると同じ目的でつながろうという取り組みです。



ビル屋上での和綿栽培

船場倶楽部事務局でも栽培中

β本町橋

by 東横堀川水辺再生協議会

水辺・まち・ひとをつなぐ水辺の交流拠点、β本町橋がオープンしました。毎年3月に行う「東横堀川川びらき」はeよこ会とβ本町橋の共催で、地域交流やいろんな世代が楽しめる憩いの施設です。是非水辺に足を延ばしてください。



東横堀川川びらき
(毎年3月開催)

清掃活動
(定期清掃: 毎月14日 8:30~; 清掃&ふれあい花壇のお世話: 毎週日曜日 10:00~)

中之島モダンシーン

by 大阪市(北船場くらぶ・関西ミュージックリンク協会・三休橋筋愛好会)

中之島通の歩行者空間化に合わせ、公園活用イベント「中之島モダンシーン」が開催されました。当会会員団体もランチマルシェや演奏披露、まち歩きツアーなどのプログラムに参画しました。



開催の様子(ランチマルシェ)

開催の様子(まち歩きツアー)

開催の様子(演奏披露)

出典: 中之島モダンシーン 写真集(大阪市) <https://www.city.osaka.lg.jp/kennomu/cmfiles/contem/000020/200119/gyamv4.pdf>

船場まつり

by 船場まつり推進協議会

2021年度は時期を集中させず、秋の陣(10月~11月)と春の陣(3月)として開催。文化イベントやマルシェ、ストリートバスケットボールなど多数のプログラムを実施しました。



開催の様子

開催の様子



開催の様子(2021年秋)



開催の様子(2022年春)

船場博覧会

by 船場博覧会実行委員会

感染症対策を徹底し、船場の文化的魅力を伝えるイベント(11/17~11/23)、及び旧家に伝わる雛飾りを公開する「船場のおひなまつり」(2/25~3/3)を開催しました。

船場倶楽部

SEMBA CLUB Annual Report 2021



「船場倶楽部」では、船場の歴史・文化・暮らしを育みながら、良好な景観・美観を創出し、まちの魅力向上と賑わいづくりに貢献するため、船場地区内の地域連合振興町会、商業団体、社寺、法人企業、そして地域まちづくり団体などが連携協力し、船場地区全体に亘る課題について、検討し解決に努めることを目的として活動しています。

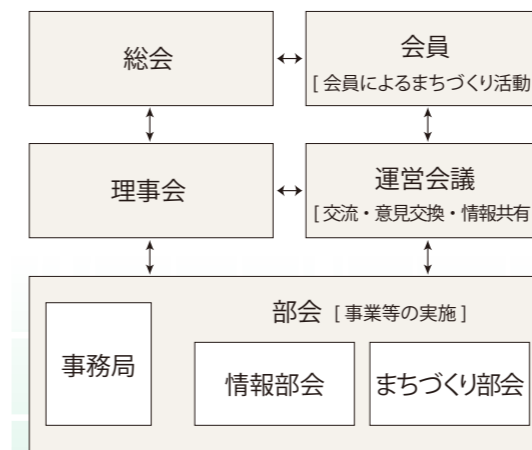
2021年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、総会・運営会議など集会・交流活動は自粛せざるを得ず、WEB会議等インターネットを活用することとなりました。

しかし、重点事業として掲げてきました「船場まちづくり検討会」による道路空間の再編に向けた「社会実験」の実施、及び「まちの将来ビジョン」の検討に関しては、日程の設定や感染対策に留意して実施、一定の成果を上げることができましたのでご報告します。

活動内容

- 1 まちの課題を解決し、新しい都心像に挑戦
- 2 柔らかな連携と交流を育くむまちづくりを発展
- 3 開かれた船場の窓口
- 4 船場の情報発信

組織体制



役員等 (2021年度)

- 特別顧問 橋爪 紳也 (大阪市特別顧問 | 大阪府立大学研究推進機構教授 | 大阪府立大学観光産業戦略研究所所長)
- 理事長 大橋 達夫 (集英連合振興町会)
- 副理事長 田中 雅人 (大阪ガス(株))
- 理事 青木 教至 (道修町まちづくり協議会)
- 理事 池田 吉孝 (船場博覧会実行委員会)
- 理事 池永 純造 (船場まつり推進協議会)
- 理事 川上 潤 (愛日連合振興町会)
- 理事 千葉 桂司 (船場クリエイティブポータル推進協議会)
- 理事 中塚 一 ((株)地域計画建築研究所)
- 理事 日比 哲夫 (寄合びんご)
- 理事 源 裕次 (船場センタービル連盟)
- 理事 渡邊 紘一 (坐摩神社)
- 会計監事 小川 優一 (せんば心齋橋筋協同組合)
- 会計監事 玉野 淳 (船場中央税理士法人)
- 事務局長 谷口 康彦

会員 (2021年3月末時点)

- 正会員 74名
賛助会員 59名
(連合振興町会、商店街、まちづくり活動団体、寺社、法人、個人)

お問い合わせ



船場倶楽部
SEMBA CLUB

- 船場倶楽部に関するお問い合わせ
Mail/info@sembaclub.com
- 船場倶楽部ホームページ
www.sembaclub.com

イベントやエリア情報などを集約したポータルサイト



船場ナビ
<https://semba-navi.com>

船場ナビ 検索

1. 活動報告

まちの将来像の検討

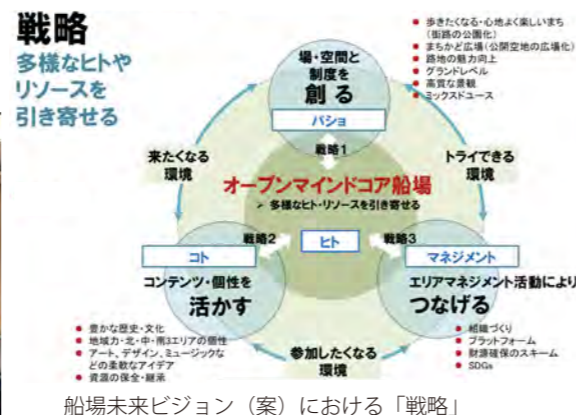
2019年度に実施した提案コンペの結果や、2020年度に実施した「まちの将来像の可視化」の社会実験等の成果を踏まえ、新しい時代の都心像の具体化に向けた以下の取り組みを行いました。

「船場まちづくり検討会」による未来ビジョン検討

行政と学識経験者とともに「船場まちづくり検討会」を立ち上げ、国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」の補助金を活用し、「居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成」を目標とした、まちの将来像の検討を進めています。



船場まちづくり検討会の様子



船場未来ビジョン(案)における「戦略」

高麗橋 street park2021 | 主催：船場博覧会実行委員会・船場倶楽部

船場博覧会のスペシャルイベントとして、高麗橋通りを舞台に、道路の片側半分を車道として残しつつ、道路の半分と公開空地(民地)で賑わいを演出する、「シェアド・スペース化」の社会実験を実施しました。



社会実験当日の様子①



社会実験当日の様子②

みんなで船場パーク花火 | 主催：船場倶楽部・公園等活用促進プロジェクト実行委員会 共催：愛日地域活動協議会 (船場まつり推進協議会・久宝連合振興町会・チームcobon・辰野株式会社)

提案コンペの入賞者(有志)で構成する「チームcobon」が地域とともに、提案コンペ入賞作品『船場手持ち花火大会』の実現に取り組みました。



花火を選ぶ子どもたち



手持ち花火の様子

まちづくり部会

2021年度は、まちの将来像の検討に取り組んだほか、大阪市が設置した「御堂筋協議会」「大阪エリアマネジメント活性化会議」に参加し、情報共有や他地域との連携交流を行いました。

情報部会

船場「まちの案内板」の設置

2021年度は、地権者案内板1基が完成しました。また、案内板の設置から5年が経過したことから、案内板事業の効果を検証するため、会員アンケート調査や地域ヒアリングなど各種調査を行いました。



道修町の田辺三菱製薬前に設置した案内板

- 主な調査結果
- 当事業について「意義がある」「やや意義がある」と考える会員の割合：9割以上
 - 北船場では、情報発信に役立っている一方、中・南船場では設置数も少なく、十分な効果を発揮できておらず、今後の展開に期待
 - 設置した地権者から、企業の地域貢献等として魅力的であり満足しているとの評価 など

船場ナビ

2021年度は、SNS(Facebook, Instagram)で、船場の日常風景を「船場つうしん」として発信を継続しています。また、船場博覧会において、「船場つうしん」で発信してきた船場の魅力をポスター化し、芝川ビルに展示しました。



船場博覧会での展示

船場ガイドブック2021の発行

第10号にあたる2021年度版では、「船場ホテル今昔」について特集しました。また、東京のガイド冊子「江戸楽」からの取材を受け、船場倶楽部の活動などについてご紹介いただきました。



船場フォーラム2021—今年は船場よもやまトーク—の開催

第18回目となった2021年度は、さまざまな角度から船場のまちの見方・楽しみ方を紹介する全6回の小規模・連続トークライブとして開催しました。コロナ感染症予防のため、完全オンライン(WEB会議)での開催とし、テーマごとに日程、時間を変えて実施しました。



当日のライブ配信の様子

活動助成制度

船場倶楽部では、会員による新たな魅力創出事業の立ち上げなど創意ある活動や、会員団体の相互協力による連携イベントの実施に対して、金銭的な支援を行う「活動助成制度」を創設しています。2021年度は、船場博覧会実行委員会に活動助成を行いました。

船場倶楽部の組織体制の検討

船場まちづくり検討会のビジョン素案に基づき、船場倶楽部の役割について検討を行いました。また、会員アンケート調査を行い、今後の船場倶楽部の事業のあり方について検討を行いました。

- 主な調査結果
- 「まちの将来像の可視化の取組」については、ほとんどの会員が「意義がある」と回答
 - 「活動助成制度」については、事業の成果や補助内容の周知に取り組む必要がある など